

懇談会における委員からの主な質問及び意見（抜粋）

1 東海第二発電所に関すること（回答：原電）

(1) 地域の皆さまへの説明会

意見無し

(2) 中央制御室火災を踏まえた安全管理の徹底について

質問及び意見	回答
<p>作業担当者の意識向上（対策13）に当たる工事要領書の読み合わせについては、協力会社を始めとして、二次三次の協力会社も含めて作業に当たる全員を対象にしているのか。</p>	<p>全員ではなく、関係する主要な人のみで行っている。</p> <p>読み合わせについては、元請け会社の指導員や各作業の班長などと発注した工事要領書の内容の確認を行い、品質保証の確認も併せて行っている。</p> <p>放射線管理が必要な場所であれば、原電側の放射線管理部門の社員が、内容が妥当であるかも確認している。</p> <p>また、安全管理も必要となるため、そちらの労働安全が守られているかも確認している。</p>
<p>中央制御室の制御盤は一番重要な部分であるため、そこを簡単なレベルで（ヒューズ容量を）変更してしまうことは問題だと思う。</p> <p>きちんと回路設計、安全マージン（不測の事態に備えるための余裕）を含めた承認、書類上の承認と実際に火を入れて行う検査が、どの程度安全なのか、安全マージンのチェックも必要だと思う。</p> <p>その辺が再発防止対策に盛り込まれているのか。</p>	<p>変更する場合は、当然変えたことについて、今までの設計に対して、適切で安全マージンが確保されているかの確認が必要である。</p> <p>一般的な我々のプロセスでは、変更する行為に対しては、審議体の中で妥当であるかどうか、所長ないし所長代理まで承認をもらって実施するという事になっている。</p> <p>今回の問題としては、このプロセスの前に、一時的な変更であるということで担当者のお話で留まってしまったことがある。</p> <p>こうした一時変更をどう捉えるのかというところで、リスクマネジメントガイドラインを改正（対策5）し、上の者まで必ず変更するという事を伝える行為を追加することで、必要があれば所長までの承認を得た上で設計変更する。</p>
<p>3.11事故で学んだのは、絶対に事故は起きないということはないという</p>	<p>絶対ということはあり得ないため、それがゆえにリスクマネジメント（対策5）だと</p>

質問及び意見	回答
<p>ことだと思う。</p> <p>事故というのはゼロにはできない中で、こういうトラブルが異常事態にならない、事故に進展しない対策というのはどういったものがあるのか。</p>	<p>考えている。</p> <p>中央制御室を例にとると、確かに発火したが、それが延焼しないことでほかの設備を守りに行くことが重要である。</p> <p>例えば2系統などの設備による多重防護の考えで対応することが一つだと思う。</p> <p>加えて、設計を理解して操作できる人やリカバリーできる人を組み合わせる体制をとることが重要だと考える。</p> <p>モノとヒト、ハードとソフトの両面からリスクを低減させていくということを考えている。</p>
<p>東日本大震災後に入所した社員が約5割を占めており、東海第二発電所のプラントの起動や運転中の状態を知っている人が半分しかいないということについて、新たなプログラムや運転シミュレーターなどで経験させるということだが、最近、同じBWR（沸騰水型軽水炉）の東北電力の女川や中国電力の島根が再稼働している。</p> <p>そういったところに、所員を出向させて経験させるということも効果があるかと思うが、その点はどう考えているのか。</p>	<p>再稼働した原発を活用したらどうかということだが、すでに女川に出向している所員がいる。</p> <p>また、火力発電所への出向も行っており、生きた現場での研修も実施している。</p>
<p>今回の再発防止対策を立てるときに、第三者を入れ、専門家の知恵を借りて対策を立てられたと思うが、評価についても同じように考えているのか、教えてほしい。</p>	<p>社内での実績の評価を実施している。</p> <p>委員から貴重な御意見をいただいたので、外部の方を入れることを、今後検討したい。</p>
<p>3Hについてだが、「初めて」が大変か、「変更」が大変か、「久しぶり」が大変か、それぞれにレベルがあるのか。</p>	<p>3Hはどれもフラットで見なければならぬため、どれか一つでも該当すれば、それなりのリスク管理が必要になると考えている。</p> <p>「初めて」であれば、そのプロセスに問題がないかということが大切であり、「変更」であれば、その設計変更が妥当なのかどうか、「久しぶり」であれば、知っている人を含めた多重のチェックが必要になるため、全て重要だと考えている。</p>

質問及び意見	回答
<p>技術伝承について、ベテランが退職されてしまう状況にあるかと思うが、経験を伝えるのは良いと思うが、単に教える行為ではなかなか若い人には伝わらないと感じていて、限界があると思う。</p> <p>恐らく一方的に教えるというよりは、問答を繰り返しながら、いわゆるコーチング、そういった教え方が良いように感じている。</p> <p>ここでいう技術伝承が、一方的に伝えるではなく、やり取りを踏まえての技術伝承をするという認識で良いか。</p>	<p>若手の人にもいろいろな性格の方がおり、問いかけてもレスポンスが薄い人もいれば、積極的に自分から進める人もいる。</p> <p>従ってコーチングのスキルは重要だと感じているので、問いかける姿勢を基本として、うまく問いかける方法などのスキルを磨いていきたいと考えている。</p>
<p>再発防止対策のうち、リスクマネジメントガイドラインの改正（対策5）のポイントを紹介してほしい。</p>	<p>リスクにチェックを入れるタイミングとプロセスを定めていて、特に3Hの作業ステップのところではマーキングを入れて上覧して、認可をするという変更を加えたということになる。</p> <p>計画を立てた段階だけではなくて、作業するところまでの各ステップで必ずチェックが入り、抜け落ちを防ぐということがポイントになる。</p>

(3) 原子力館（PR館）電源盤内からの発煙事象の確認について
意見無し

(4) 原電ホームページのうち「茨城地区イベント情報」等の表示の変更について
意見無し

2 原子力安全対策の取組について

質問及び意見	回答
<p>10月の訓練時の防災行政無線の放送は、UPZを対象とした内容で、PAZの内容はなかったと思うが、PAZの住民も聞いていた。</p> <p>PAZがどういう行動をとれば良いか分からなかったと思うので、広報文を作成する段階で、PAZも考慮した内容だと良いかと思う。</p>	<p>次回の訓練では考慮したい。</p>
<p>屋内退避チェックリストの記載事</p>	<p>対応したい。</p>

質問及び意見	回答
<p>項について、内閣府のリーフレットを参考にしたかとは思いますが、変更できるか分からないが、原子力災害時は、最初に「まずは落ち着いてください」というのが一番大事だと思う。</p> <p>市民の方が、慌てたりパニックにならないというのが一番大事なので、「落ち着いて行動してください」と入れてほしい。</p>	
<p>【意見】避難手段の原則は自家用車となっているが、特にガソリンの給油や高齢者が増えているなど不安に感じている。</p> <p>自家用車でなくてもバスのピストン輸送などで避難できるのも良いかと思うので、バス避難の検討をお願いしたい。</p>	
<p>市からの情報伝達について、防災行政無線が聞けない聞こえにくいと感じている人も多いかと思うので、日立市内にいる方全員にスマホを活用した通知など、一斉配信の方法の検討をお願いしたい。</p>	<p>今後の訓練では、エリアメールの活用について、検討していきたい。</p>

以 上